

“忘れない、一人一人の7年を。あの日亡くなった、あなたのことを” 復興支援番組「LOVE&HOPE」のキャンペーンスポットをOA

2018年2月26日(月)よりオンエア

TOKYO FMをはじめとする JFN38 局では、東日本大震災が起きた翌月 2011 年 4 月より、被災された方々と全国のリスナーの心をつなぎ、復興地の姿を紹介する復興支援番組『LOVE&HOPE』(月～金「クロノス」内 6:30～6:40)をスタート。以来 7 年間、途切れることなく放送を続けています。

あの日から 7 年。記憶の風化が進む中で、『LOVE&HOPE』では、“忘れない、1人1人の7年を。あの日亡くなった、あなたのことを”をテーマに、番組オリジナルのキャンペーンスポットを制作しました。2月26日(月)よりオンエアしていきます。

◆生き残った私、亡くなったあなた…ともに歩んだ7年の想い

2万人を超える死者・行方不明者を出した未曾有の大災害から、まもなく7年を迎えようとしています。

『LOVE&HOPE』がこれまで取材してきた方々は、ほとんどが大切な方を亡くされていますが、“いつもそばに存在を感じる、心の中で話しかけている”とおっしゃっています。亡くなった方々は、もう声を出すことはできませんが、生き残った家族や友人をそばで見つめ、語りかけながら、この7年を一緒に歩んできたのです。

そこで『LOVE&HOPE』では、“忘れない、1人1人の7年を。あの日亡くなった、あなたのことを”をテーマに、番組オリジナルのキャンペーンスポットを制作しました。これまで取材をしてきた方々にあらためてマイクを向け、こんな質問を投げかけました。「亡くなった方が、7年目のあなたを見たら、どんな言葉をかけてくれると思いますか?」。その答えからは、あの日亡くなった“あの人”の面影が鮮やかに浮かび上がってきます。

◆谷川俊太郎の詩、古澤巖の音楽とともに

『LOVE&HOPE』のキャンペーンスポットのモチーフとなったのは、谷川俊太郎の詩「あなたはそこに」。“本当に出会った者に別れはこない あなたはまだそこの”という言葉が、普遍のメッセージとなって心に響きます。

音楽を担当するのは、世界的なヴァイオリニスト、古澤巖。この企画のために新たに編曲・収録した「めぐり逢い 2018」は、4月11日発売のニューアルバム「スウィング・フーガ」にも収録されます。



◆出演は演技派俳優、益岡徹と大後寿々花



声の出演は、益岡徹と大後寿々花。益岡徹は、仲代達矢主宰の無名塾に第4期生として入塾し、以降、映画・舞台・TVドラマ・ナレーション等の幅広い分野で、息の長い活動を続けています。ナレーターとしては、ドキュメンタリー作品やラジオドラマで活躍。情感あるナレーションが評価され、日本民間放送連盟賞をはじめ数々の賞を受賞しています。

大後寿々花は、子役時代から名演が目され、ハリウッド映画「SAYURI」での世界的評価を経て、現在は連続テレビ小説「わろてんか」などに出演中。TOKYO FM ラジオドラマ「ライターをつぶやく〜河北新報の5年」「終わった人」「クリスマス告白」にも出演しています。声の演技に定評がある2人の演技派俳優が、心をこめてメッセージを伝えます。

【番組「LOVE&HOPE」概要】

タイトル：『LOVE&HOPE～ヒューマン・ケア・プロジェクト～』

放送日時：月曜日～金曜日「クロノス」内 6:30～6:40 放送

放送局：TOKYO FMをはじめとする JFN38 局

ホームページ：http://www.tfm.co.jp/lh/

